



2014年8月31日 つくば・おとなりの建築家

2014年9月17日（水）～21日（日）つくば・おとなりの建築家展6を開催します

私たちは、つくばにゆかりのある建築家が集う有志の団体です。1～2年に1度開催する全体展覧会「つくばおとなりの建築家展」を中心に、地域の人々と直接関わりながら、建築家と一緒にいう家づくり・街づくりの楽しさを広く伝えていこうと2010年から活動しています。

つくばの文化や自然を良く理解した建築家が専門性を生かして、デザインによる創造的で豊かな生活のあり方を提案すると共に、地域の人々の「自分らしい住まい」や「街の環境デザイン」のレベルアップに貢献していく事を目的として、各建築家が作品のパネル展示いたします。

同時開催する子供ワークショップ「こども建築家になるう！」では、建築家と子供達と一緒に木や紙のカードを組み合わせて立体的な形を作っていきます。実際に頭と体を動かして「デザインする力＝未来を創造する力」を養い、子供達にもデザインマインドを継承し、持続可能な街づくりを目指しています。

昨年行われた第5回となる同イベントには約1000人を超える来場者がありました。本年はより充実した展示と新たに工事現場からでた「木っ端」を使った子供ワークショップを行います。建築に親しむきっかけとなり、地域の人々に身近にいる建築家をよりよく知ってもらえる場としたいと思っております。

その他にも地域への情報発信と交流活動を精力的に行っております。（別紙のこれまでの活動・メディアをご参照下さい。）

開催概要

- 名称 : つくば・おとなりの建築家展6
- 日程 : 2014年9月17日（水）～21日（日）
- 場所 : 茨城県つくば美術館ギャラリー
入場無料・会館時間 9:30-17:00 最終日15:00まで（入場は終了30分前まで）
- 協賛 : 総合資格学院 つくば校
- 参加者 : 建築家15組（別紙パンフレット裏面をご参照下さい。）

公式ホームページ : <http://tsukuba-otonari.jimdo.com/>

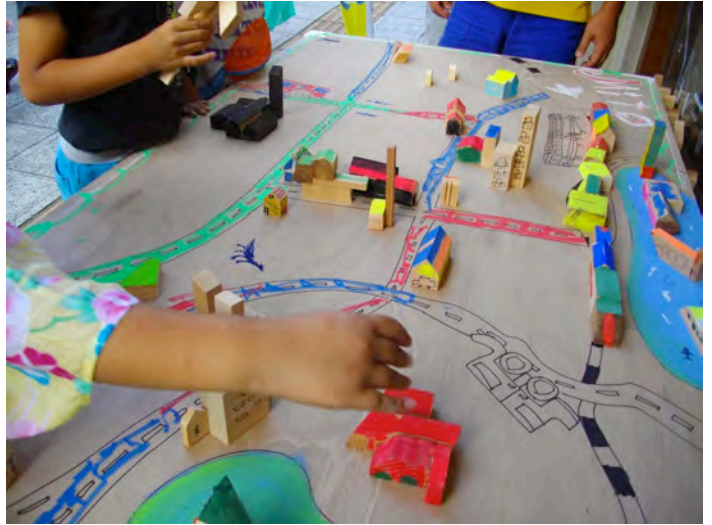
公式ブログ : <http://tukubarchi.exblog.jp/>

フェイスブック : <https://www.facebook.com/tsukuba.architects>

お問い合わせ先 : つくば・おとなりの建築家展6事務局 井川建築設計事務所内
029-894-3848 担当 井川 info@igawa-arch.com

子供ワークショップ「こども建築家になろう！」に参加してみませんか？

「木っ端（こっば）」を自由に組み合わせて、好きな場所に置いて、自分たちだけのつくばの街を作りましょう！



8/2,3に水戸黄門祭りにて行われたプレワークショップでは水戸の街が出来上がりました。



昨年のつくおと5での子供ワークショップ。プレイカードを使って思い思いの家をつくりました。

つくば・おとなりの建築家展

つくばを建築家と家づくりができる街へ

地元縁の建築家でタッグを組む

「つくば・おとなりの建築家展」(以下つくおと)は、茨城県つくば市に縁のある建築家が集う有志の団体で、展覧会名を団体名として掲げ、1~2年に1度開催する展覧会を中心に、地域の人びとと直接関わりながら、建築家と一緒に家づくり・街づくりの楽しさを広く伝えていこうと2010年から活動しています。メンバーは、つくば出身の地元の建築家だけでなく、つくばで育ち今は別のところで活動している人、地元の大学出身者、新たに移住してきた人、つくばでの設計経験をもつ人など、30~40代のさまざまな建築家15組で構成されます。

筑波山の南側に位置し豊かな農作地帯だったつくばは、1960年代に筑波研究学園都市として開発が進み全国各地から教員や研究者たちが移転して暮らすようになりました。田舎と都市がブレンドされた独自の魅力を持ち、近年ではつくばエクスプレスの開発によって都心へのアクセスもよくなり、今後も住宅需要の増加が見込まれるエリアです。

つくおとの活動の根底には、つくばの文化や自然をよく理解した建築家が、それぞれ専門性を活かして、デザインによる想像的で豊かな生活のあり方を地域の人びとに伝え、知的好奇心、探究心の強いつくばの人たちの「自分らしい生き方」や「街の環境デザイン」のレベルアップに貢献したいとの考えがあります。しか

し、一般の人びとにとっては、建築家との家づくりは、設計事務所の数もハウスメーカーや工務店と比較すると少なく、建築家と出会う機会もあまりないことから、たとえ興味があっても敷居が高いものと思われているようです。では、出会う機会を増やすことができれば、家づくりのひとつの選択肢として、設計事務所を考えてもらえるようになるのではないかと。そのために、複数の建築家たちが一丸となって情報発信の協力体制をつくり、家づくりの選択肢におけるひとつの窓口として建築家の存在をアピールしていけたらと思っています。

地域への情報発信と交流活動

建築家を身近に感じてもらうための具体的な活動として、Blog (<http://tukubarchi.exblog.jp>), Facebook (<https://www.facebook.com/tsukuba.architects>), 雑誌媒体などへの継続的な情報発信のほかに、各事務所に主催するオープンハウスやイベントを積極的に地域に開放したり、つくば市内の中学校のキャリア教育講演会講師として建築家の仕事がどんなものかを伝えたり、東日本大震災後の聞き取り調査による防災対策情報のまとめを公開したりしています。

またこれまでに、実際に建築家に会って、家づくりの現実的な相談を行えるイベント「つくば・おとなりの建築家展」を5回開催しました。ここでは、各事務所がそ

れぞれ完成実例住宅や家づくり手法を紹介し、家づくりを進めるきっかけを提供するほか、「こども建築家になろう!」と題したワークショップも行っています。これは、建築家と地元の子供たちが一緒になってPLAY CARD(切り込みのある紙製ブロック)に色を付けたり、絵を描いたりし、それぞれのカードを組み合わせて立体的な形をつくっていくもので、そのプロセスを楽しんでもらいながら、ものづくりの想像力、未来を考える力、コミュニケーションの大切さを体感してもらう企画です。(つくおと第6回では新たに木っ端を使用したワークショップを開催します)2013年9月につくば美術館で開催された第5回目になる同イベントには、新規参加者とリピーター参加者を合わせて、約1,000人を超える来場者があり、好評のうちに終了しました。イベント後の各事務所への相談件数も増え、徐々につくおとが地元で認知され、1設計事務所では活動しているだけでは得難い、効果的なブランディング力を獲得しつつあると感じます。

今後は、さらに地元で信頼してもらえるような団体を目指すと共に、つくばを建築家と気軽に家づくりができる街にし、街中に家族のライフスタイルと地域の特性を活かした住まいが増えていくように努めていきたいと思っています。

(つくば・おとなりの建築家展代表、井川建築設計事務所 井川一幸)



1: 「つくば・おとなりの建築家展5」会場風景。中央が子供たちのワークショップコーナー、周辺は各建築家の展示コーナー。/2: 定期的に行われる展示会の企画会議の様子。/3: 会場では、気になる建築家と直接家づくりの話ができる。/4: 代表の井川が地元の中学校で建築家の仕事について学生に語りかける。/5: 建築家と話しながら紙製ブロックを組み立てる子供たち。



つくば・おとなりの建築家展

つくばを建築家と家づくりができる街へ

これまでの活動

つくば・おとなりの建築展1
2010 9/15-20 つくば美術館



左：会場風景／右上：つくばの立体地図。思い思いの家を作って乗せる。／右下：10月地域の催し「風アート2010」に出品し、センタービル広場に展示された。

つくば・おとなりの建築展2
2012 2/28-3/4 つくば美術館



左：会場風景・1000人を超える来場者!!／右上：ワークショップ／右下：巨大なタワーが会場に出現!

つくばスタイル生活展 (つくおと3)
2012 5/13 イーアスつくば



出張つくおと展
県/3市/URの協議会による生活展に作品展示とワークショップを出前

つくばスタイル縁日 (つくおと4)
2012 10/27-28 生空間建築研究所



バスでつくばの暮らしを訪ねるイベント。
つくおとメンバー設計の自宅を開放し、パネル展示とともに庭でバーベキュー大会を開きつくばスタイルの楽しさを伝えた。

つくば・おとなりの建築展5
2013 9/10-16 つくば美術館



左：会場風景／右上：ワークショップ・子供たちが一生懸命作中!／右下：PLAY CARD (切り込みのある紙製ブロック) に色を付いたり、絵を描いたりし、子供達はそれぞれの住みたいお家を作っています。

キャリア教育講演会講師
2013 7/10 つくば市内の中学校



メンバー代表井川が招かれ、中学2年生に、
建築家の仕事とは実際どのようなものなのか? や、デザインの重要性、社会性を伝えました。

メディア

HP/ブログ/facebookでの情報発信
2010~

「建築知識」6月号寄稿
2011

「住みたいねっとマガジン」Vol26~28寄稿
2012

グッドデザイン賞2次審査出展
2012



緊急特集が組まれた液状化の問題に対して、有士メンバーが現地調査検討し、具体例を上げながら現時点での課題を挙げた。また地震直後に自らが設計した住宅に訪問して分かった小さな被害やその対策方法を掲載。



オープンハウスや住宅相談会の開催お知らせや進んでいる物件の設計の話など随時更新している。

3号連続企画としてメンバーの作品とそこでの生活を紹介。設計事務所の日常を伝えるリレーコラムも